

2021年5月21日

国内商用印刷市場向け四六半裁サイズ対応の枚葉インクジェットプリンター 「RICOH Pro Z75」を発売 ～新開発技術で印刷事業者のニーズにお応えし、デジタル化を加速～

株式会社リコー(社長執行役員:山下良則)は、国内商用印刷市場向けに枚葉タイプ(カットシート)の高速インクジェット・プリンティング・システム「RICOH Pro Z75」を2022年秋に発売します。「RICOH Pro Z75」は、リコー初となる印刷事業者向けの枚葉インクジェットプリンターです。「RICOH Pro Z75」によって、印刷事業者のデジタル化への移行を加速させ、新たな事業領域の拡大、環境負荷の低減を実現します。

近年、国内商用印刷市場では印刷物の多品種小ロット化やダイレクトメールに代表されるパーソナライズされたアプリケーションの増加により、デジタル化のニーズが高まっています。しかしながら、多くの印刷事業者でオフセット印刷からのデジタル化が進んでいないことが課題となっています。現在、デジタル機を検討・導入しているお客様から多く聞こえてくるご要望は、更なる高生産性、薄紙対応、両面印刷対応、低ランニングコスト、四六半裁サイズ対応、そしてスキルレスによる容易な人材確保に関するものでした。「RICOH Pro Z75」は、これらのご要望にお応えし、印刷事業者の課題解決を後押しします。

「RICOH Pro Z75」は新開発の水性顔料インクとリコー独自のプリントヘッドの組み合わせにより、オフセットに迫る画像品質が可能となりました。水性顔料インクは同時に環境負荷リスクの低減にも貢献します。また、片面最大4,500枚/時の高速出力と1,200dpi×1,200dpiの高解像度に加え、自動両面印刷機能も搭載しており、シンプルオペレーションによる高い生産性を実現します。対応紙サイズは最大545×788mmの四六半裁サイズまでサポートし、オフセット印刷機と同等の多面付けが可能となります。マニュアルやパンフレット、書籍など様々な小ロット印刷物のデジタル印刷への移行を加速させ、業務の効率化に貢献します。

さらに、印刷事業者が対応できるアプリケーションの拡大を実現するために、薄紙で発生するコックリング(ひじわ)を強力に低減させる新開発の乾燥システムを搭載しています。これらの新開発技術により、更なる価値を提供することで、印刷事業者とともに成長し、事業拡大のパートナーとしてビジネスをサポートしてまいります。

リコーは2008年にプロダクションプリンティング市場に本格参入して以来、商用印刷分野におけるPOD(プリントオンデマンド)印刷などで市場のさまざまなニーズに対応する製品およびサービスを提供してまいりました。この度の新製品の投入により、さらに価値提供できる領域を広げ、新たなお客様のご要望に応じてまいります。

株式会社リコー <https://jp.ricoh.com/>

報道関係のお問い合わせ先 広報室 TEL: 050-3814-2806(直通) E-mail: koho@ricoh.co.jp
お客様のお問い合わせ先 リコーテクニカルコールセンター TEL: 0120-892-111

製品名	RICOH Pro Z75
解像度	1,200 dpi × 1,200 dpi
最高印刷速度	4,500枚/時 (片面時)
最大用紙サイズ	545 × 788 mm (四六半裁サイズ)
発売日	2022年秋 国内発売予定



RICOH Pro Z75

※会社名および製品名は、それぞれ各社の商号、商標または登録商標です。

| リコーグループについて |

リコーグループは、複合機などオフィス向け機器をはじめ、商用・産業印刷、サーマル、産業機器、デジタルカメラなどの製品・サービスを世界約200の国と地域で提供しています。(2021年3月期リコーグループ連結売上高は1兆6,820億円)。

創業以来85年以上にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもデジタルの力で人と人、オフィスや現場をつなぐことで、新しい働き方を実現します。

[imagine. change.](#) 私たちは“はたらく”の未来を想像し、ワークプレイスの変革を通じて、人々の生活の質の向上、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。 <https://jp.ricoh.com/>